

令和6年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部

第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース

小論文問題

実施期日 : 令和5年11月16日（木）
試験時間 : 9時30分 ~ 12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて3枚、解答用紙は4枚、下書き用紙は4枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和6年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部
第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース
小論文問題

以下の文章を読んで、問1と問2に答えよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

（出典：山口 裕之（2022）『「みんな違ってみんないい」のか？ 相対主義と普遍主義の問題』、筑摩書房、pp. 9-10. 出題にあたり、縦書きの文章を横書きの文章へと変更した。また、原典の一部の書式を変更するとともに、読点をカンマに変更し数字と下線を加筆した。）

令和6年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部
第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース
小論文問題

- 問1. 著者は、共同作業によって「正しさ」というものが作られていくことを主張している。この点を踏まえて、下線部①で述べられているように自分とは異なる意見や信念を持つ人達と「著作権保護の観点から、公表していません。」で終わることなく、他者との相互理解を深めるためには、どのような対話のあり方が求められると考えるか。具体例を挙げながら 700 字以上 800 字以内で述べよ。なお、解答にあたって、あなたが考える他者と理解し合う上での「正しさ」と著者の考える「正しさ」の共通点や差異を明示した上で、対話を進める上での留意点や配慮事項について述べること。
- 問2. 下線部②について、私達が新たな「正しさ」を知って成長していくことを想定した場合、その成長は段階的に進展することが考えられる。あなたが教師であったとして、問1で解答した対話のあり方に必要な資質・能力を小学校に在籍する児童に身に付けさせる時にどのようなことに留意しながら指導を行うかについて、具体的な指導場面と指導上の工夫を挙げながら、1,000 字以上 1,200 字以内で述べよ。なお、解答にあたって、小学校の低学年段階と高学年段階の2つのパターンを想定し、両者の学習内容および日常生活上の経験を比較しながら論じること。